

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	井出 晴美（20）	<p>1. 妊娠・出産の喜びを実感できる支援策について</p> <p>昨年の出生数は統計開始以来、初めて80万人を下回り、国立社会保障・人口問題研究所は本年4月、令和52（2070）年の日本の総人口が8700万人にまで落ち込むとの将来推計人口を公表しました。少子化は想定を上回るスピードで進んでいます。</p> <p>本市においても、本年4月の段階でゼロ歳児1445人で、1年前の1544人から100人ほど減少しています。このような状況が進めば、将来の社会・経済機能を維持できるかどうか、瀬戸際の状況に直面しています。また、出生率低下に加え、育児不安からくる虐待、産後鬱のほか、貧困、不登校など子供を取り巻く問題も深刻化し、全国では、子供（小学生から高校生まで）の自殺者数は、昨年1年間で514人と過去最悪となっております。子ども・子育て支援の充実については最優先で取り組まなくてはなりません。</p> <p>政府は本年3月31日、異次元の少子化対策の具体策をまとめたたたき台を発表し、その3つの柱として、1. ライフステージを通じた子育てに係る経済的支援の強化、2. 全ての子供と子育て世帯を対象とするサービスの拡充、3. 共働き・共育ての推進などの政策が掲げられ、今後3年間を集中取組期間と位置づけ、こども・子育て支援加速化プランとして取り組むことが明記されました。6月中旬には、経済財政運営と改革の基本方針、骨太の方針2023として、こども・子育て政策の予算倍増が閣議決定される予定です。</p> <p>子育て中の女性や出産を前にした女性との懇談の中で、妊娠、出産、子育てに関する経済的不安についての相談をよくいただきます。国での支援策はありがたいが、それに呼応するかのように物価も高騰し、6月からは3500品目余の食品の値上げがあり、その上、電気代の値上げなど、上がらないのは給料だけと言って、経済的困窮を訴える方が増えています。</p> <p>このような現状を踏まえ、三島市では、国の子育て支援策と併せて、子供の誕生を祝福し、子を親が安心して生み育てることができるようにと、市独自で出産祝い金を創設、出生児が第1子の場合は1万円、第2子の場合は5万円、第3子以降の場合は15万円の祝い金を支給しています。</p> <p>本市においても、少子化対策は喫緊の課題であり、結婚、妊娠、出産、子育てにおいて、富士市で生み育てることを望むカップルが増える取組が重要と考えます。</p> <p>そこで、お伺いたします。</p> <p>(1) 喫緊の課題である少子化対策について、国の支援策を通し、今後どのように取り組まれるのか本市のお考えを伺います。</p> <p>(2) 本市においても、三島市のように市独自の取組として出産祝い金を創設してはと考えますが、本市のお考えを伺います。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	井出 晴美（20）	<p>2. HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの男性への接種費用助成について</p> <p>子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて、令和4年に定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開されました。また令和5年4月からは9価HPVワクチンも定期接種ワクチンとして使用可能となり、本市でもHPVワクチンに関する接種について関心が高まってきております。</p> <p>日本では子宮頸がん予防として女性のみ定期接種となっているHPVワクチンですが、海外では男女ともに公費負担で接種できる国もあるようです。</p> <p>男性へのHPVワクチン接種の目的は、男性自身のHPV感染による疾病を予防できることに加え、パートナーへの感染防止や社会全体での感染リスク低下などで、接種の意義は高いと言えます。日本では令和2年12月に肛門がんや陰茎がん、中咽頭がんなどの予防を目的として9歳以上の男性にも4価ワクチンを接種できるようになりました。現在男性への接種は任意のため、3回接種で接種費用は約4万円から5万円と全額自己負担となっています。男性のみ、全額自費で接種を求めるのもハードルが高いと思われまます。</p> <p>そこで、男性がHPVワクチン接種をする際の接種費用を一部でも市が助成すべきではと考えます。全国では令和4年度に青森県平川市が助成をスタートし、令和5年度では群馬県桐生市、千葉県いすみ市、山形県南陽市、北海道余市町、北海道新篠津村などが独自助成制度を開始し、8月に東京都中野区、10月には埼玉県熊谷市が開始予定となっています。市民の健康を守り、将来の子育て世帯への支援策ともなります。支え合い健やかに過ごせるまちの実現、子宮頸がんの予防、撲滅を目指す本市としても、男性へのHPVワクチン接種に対する接種費用の一部を助成することは、市民の健康を守る上において最重要と考えます。</p> <p>そこで、以下3点について伺います。</p> <p>(1) 令和4年から、定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開し、令和5年4月からは、9価HPVワクチンも定期接種が開始しましたが、本市の接種状況について伺います。</p> <p>(2) 現在、男性のHPVワクチン接種は、任意接種となっていますが、HPVが関係する男性の疾病はどのようなものがあり、接種することでどのようなことが期待できるか伺います。</p> <p>(3) 現在、男性への接種は任意となっており、3回接種で約4万円から5万円と全額自己負担となっています。男性のみ、全額自費で接種を求めるのはハードルが高いと思われまます。そこで、男性がHPVワクチン接種をする際の接種費用を一部でも市で助成してはと考えますが、本市のお考</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
14	井出 晴美（20）	えを伺います。	市 長 及 び 担 当 部 長